



地球の未来を
救う学び。

持続可能な技術を
専門に教える新しい学科
文系からの志願者にも大きな期待

グリーンテクノロジーは気候変動や環境汚染、食糧安全保障などの地球規模の解決に向けた「持続可能な技術」を意味します。グリーンテクノロジー学科は、こうした技術を持つ人材を育成する、未来志向の学科です。食糧危機や自然環境の激変など、地球温暖化による影響が連日、報道されています。政府は2050年までに温室効果ガス

理工学部学科長
佐藤 伸二郎 教授
Sato Shinjiro

さとう・しんじろう / 1993年創価大学文学部英文学科学士課程卒業。フロリダ大学土壌・水科学部博士課程。博士(土壌学)。エチオピア・タナ湖で過剰繁殖する、水草バイオマスの管理手法と有効利用の研究をしている。



の排出をゼロにする、「カーボンニュートラル」を目指す宣言をするなど、各国が対策を講じています。こうした中、教育機関としても、できることに早急に取り組まなければ、という思いを持ってきました。

技術の習得だけでなく
国際性やビジネスも学ぶ

創価大学理工学部ではこれまで、共生創造理工学科が中心となってきた分野の学びを牽引してきました。新学科ではこれまで培ってきた教育を柱に、より深く新たな視点で環境技術を学べるようにしました。理念に賛同してくれた各分野の研究者たち、具体的には大気科学やプラント工学、排水資源化学や水資源管理、ロボット工学などの専門家が集結し、最強の布陣となりました。

学科の特徴の一つは、「文理融合型」の学びに主眼が置かれていることです。地球規模の課題である環境問題を解決して行くには、技術の習得、開発にとどまらず、それらを世界に広げる必要があります。そのために欠かせないのが国際感覚やビジネスといった文系の視点です。そこで当科では環境経営学や国際ビジネス法などもカリキュラ

Close Up

卒業の進路
(前身学科の就職実績)

【民間企業】アクセンチュア(株)／日本公営(株)／栗田工業(株)など 【公的機関】環境省／農林水産省／海洋研究開発機構(JAMSTEC)／JICAなど 【学界】東京大学／イースト大学(フィリピン)／マサチューセッツ工科大学(アメリカ)など。

4年間のカリキュラム

1年次はグリーンテクノロジーの基礎的理解に必要な科学知識を養う研究体験プログラムなどを通じて、興味を深める。2年次は各分野の講義と実習を通じて知識と技術を磨く。3年次は専門性を深め、海外研修などを通じて国際感覚を養う。4年次は研究室で先端研究に取り組み、総合的な理解と実践力を身につける。

入試トピックス

書類審査、1教科の筆記試験、面接で選抜する、総合型選抜 基礎学力方式(併願型)は11月上旬の合格発表を確認して他大学に挑戦も可能です。50万円の奨学金などの特典を獲得できる女子特別選抜も新設しました。



うになっています。

実習が多いことも特徴です。キャンパス内に作られた農地でロボットを使ったAI農業を学ぶことなども予定しています。2、3年次には海外の大学や研究所、企業などでの実習も用意しています。

持続可能な社会のためにできることはたくさんあるはず。受験生の皆さんには本学でそれを見つけ、実現に向けて学んでほしいと期待しています。

女子特別選抜を実施
多彩な人材の確保へ

なお、理工学部では総合型選抜において2026年度から「女子特別選抜」を導入するなど、多様な人材の確保にも力を入れていきます。

一方、理系出身の学生にはより深く専門分野について学びたいという志向があるでしょう。そのような学生は2年次から専門科目を集中して学習できるよ



SOKA University

創価大学

〒192-8577 東京都八王子市丹木町1-236
TEL 042-691-2211

経済学部／経営学部／経済経営学部(2026年開設)／法学部／文学部／教育学部／理工学部／看護学部／国際教養学部／通信教育部



www.soka.ac.jp/